

継続的支援の表明

私たちツガミグループは、創業以来培ってきた精密技術を基礎に、お客様のご要望に合致した「高精度」「高速」「高剛性」の製品を提供してまいりました。

現在、情報技術（IT）産業等の急激な技術変革により、更に総合的性能の向上が必要と認識して、研究開発に全力を傾注しております。今後ともお客様の生の声を吸収し、ニーズを先取りして、新しい価値の創造を通じ、社会に貢献してまいります。

また、経済情勢や地球環境、科学技術など、企業を取り巻く環境は大きく変化し、サステナビリティ（持続可能性）が非常に重要な課題となっております。ツガミグループでは、事業活動を通じて環境・社会問題をはじめとするサステナビリティに関する課題に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野10原則からなる「国連グローバル・コンパクト」の趣旨に賛同し、国際的なイニシアティブに沿ったESG（環境、社会、企業統治）の取り組みを継続して推進いたします。

ツガミグループは、これからも技術力と人材を核として、持続的な成長と進化を遂げていくと共に、本業を通じて積極的に社会課題の解決にも取り組んでまいります。

ステークホルダーの皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2022年3月31日

株式会社ツガミ

代表取締役 CEO 西嶋 尚生

ツガミ サステナビリティ・ブックレット2022/2

株式会社ツガミ

目次

TOPページ	2ページ
サステナビリティ委員会 メッセージ	4ページ
サステナビリティ方針	5ページ
環境	6ページ
社会	8ページ
ガバナンス	10ページ
ESGデータ	11ページ

サステナブルな 未来を目指す

ツガミは、技術力で世界のお客さまの信頼に応え、成長してきました。地球と社会の持続可能な発展のために、社会に貢献する事業を追求します。



Message

サステナビリティ委員会メッセージ

ツガミは事業活動を通じて社会に貢献することで持続可能な成長を実現し、社会的な責任を果たしていきます。



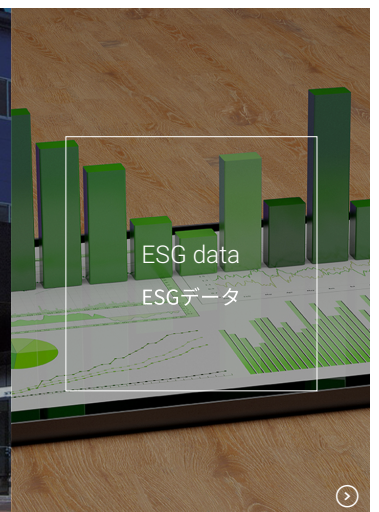
Policy

サステナビリティ方針

事業活動を通じて社会課題の解決に貢献し、社会と共に持続的な成長を目指す。





ESGへの取り組み






お知らせ

2021.06.16  [カーボンニュートラル2050年実現に向けた中長期目標設定に関するお知らせ](#)（PDF：141KB）

2021.06.16  [国連グローバル・コンパクトへの署名についてお知らせ](#)（PDF：135KB）

2021.04.20  [サステナビリティ委員会の設置に関するお知らせ](#)（PDF：125KB）

[一覧を見る](#)



サステナビリティ委員会メッセージ

message

[トップ](#) > [サステナビリティ](#) > サステナビリティ委員会メッセージ

ツガミグループが考えるサステナビリティ

2020年、新型コロナウイルス感染症は、世界に急速な変化をもたらしました。お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された皆様、困難な生活環境に置かれている皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者の皆様をはじめ、社会基盤を支えられている皆様には心からの敬意を表し、深く感謝申し上げます。この歴史的変革期において、今後も社会活動や経済活動を持続的に発展させていくためには、企業がこれまでの既成概念を壊し、新しい社会を見据えたビジネスモデルへシフトしていくことが求められます。

ツガミグループは、自動車、IT関連、医療機器、家電製品等、多くの産業に不可欠な「高精度」「高速」「高剛性」の工作機械を供給することで、世界中の人々の生活に利便性をもたらすとともに、産業や社会の発展に貢献しています。今後も、「創業以来培ってきた精密技術を基礎に市場ニーズを絶えず先取りし、新しい価値の創造を通じ、社会に貢献すること」という経営理念のもと、技術改革による産業構造の変化を見据え、最先端技術や製品の提供で持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

一方、世界では、経済情勢や地球環境、科学技術など、企業を取り巻く状況は目まぐるしく変化しています。この変化の中で、社会が直面する複雑で困難な課題の解決に向けて企業が担う役割の重要性は、ますます高まっています。当社グループでは、事業活動を通じて環境・社会問題をはじめとするサステナビリティ（持続可能性）に関する課題に取り組み、精密技術を基礎に市場ニーズを絶えず先取りし、新しい価値の創造を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。その結果として、ステークホルダーの皆様方から企業の信頼性を得て、それが私たちの持続可能性も向上させるものと考えています。

ツガミグループでは、サステナビリティ推進戦略を迅速に実行するため、2021年4月より、取締役会の監督のもと、サステナビリティ委員会を設置しました。

また、2021年5月、「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野10原則からなる「国連グローバル・コンパクト」（UNGC）に署名しました。UNGCの趣旨に賛同し、国際的なイニシアティブに沿ったESG（環境、社会、企業統治）の取り組みを推進いたします。

ツガミグループはこれからも技術力と人材を核として、持続的な成長と進化を遂げていくと共に、本業を通じて積極的に社会課題の解決にも取り組んでまいります。

ステークホルダーの皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

株式会社ツガミ
サステナビリティ委員会



[トップ](#) > [サステナビリティ](#) > [サステナビリティ方針](#)

方針

事業活動を通じて社会課題の解決に貢献し、社会と共に持続的な成長を目指す。

ツガミグループは、「High-Precision, High-Speed, High-Rigidity ツガミは常に世界No.1の「高精度」「高速」「高剛性」の工作機械を提供し続けます」という企業理念のもと、持続可能な社会の実現とグループの成長の両立を目指します。私たちは、社会からの期待を真摯に受けとめ、各地域のコミュニティと協力しながら、すべての企業活動を通じて社会に貢献し続けます。一方、2015年の国連サミットにおいて、グローバルな社会課題を解決し持続可能な世界を実現するための国際目標であるSDGsが採択される等、企業を取り巻く環境は大きく変化し、サステナビリティが非常に重要な課題となっています。

ツガミグループは、この大きな変化の中で、自社のサステナビリティ活動を経営の重要項目と位置づけます。また、同じ問題意識を持つ企業に対しては、その問題解決のためのソリューションを提供し、事業を通じて貢献していきます。

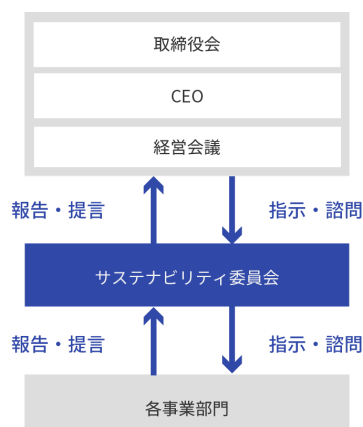
具体的には、気候変動や労働と人権の問題など世界全体の様々な課題が引き起こすリスクを認識し、それらの課題を悪化させないための対策をとります。また、課題解決のためにイノベーションを創出することがビジネスの成長機会になると捉えて、活動を行います。

ツガミグループ企業はもとより、サプライチェーン全体の中で、サステナビリティの対応を適切に進めることを、中長期の目標とします。

推進体制

ツガミグループでは、サステナビリティ推進戦略を迅速に実行するため、2021年4月より、取締役会の監督のもと、サステナビリティ委員会を設置しました。サステナビリティ委員会は、全社的なサステナビリティ推進戦略の立案とその進捗管理の役割を担っており、グループ全体の環境、社会およびガバナンスを統合的に管理・推進し、適切な情報開示を行ってまいります。

サステナビリティ推進戦略を全社的に推進するためには、社内におけるサステナビリティに関する問題意識の醸成や理解促進も不可欠です。そのため、事務局では、関連各部署と積極的なコミュニケーションを図りながら、事業とサステナビリティを結び付ける取り組みを主導しています。サステナビリティ委員会では、代表取締役を委員長とするメンバー構成で、気候変動への対応などを含めた経営判断に関わるESG関連について審議し、取締役会へ報告・提言を行っています。





環境

Environment

[トップ](#) > [サステナビリティ](#) > 環境

環境方針

ツガミは、創業以来培ってきた精密技術を基礎に市場ニーズを絶えず先取りし、新しい価値の創造を通じ、社会に貢献することを経営の基本方針としており、お客様のご要望に合致した「高精度」「高速」「高剛性」の製品を提供することにより、長期的に成長を持続させていきます。

ツガミグループは、気候変動問題及び環境課題への対応も重要な経営課題のひとつであると強く認識しています。パリ協定の枠組みや、日本政府が掲げた2050年までにCO2排出量を実質ゼロにする目標のもと、持続可能な社会を実現する為に企業が果たすべき役割を認識し、ビジネスを通じてこの課題解決を実現することが、ツガミグループの持続的成長に繋がると考えます。

以下を環境方針として、「サステナビリティ委員会」が取り組みの企画、管理、運営を総括します。

基本方針

1. 気候変動が地球共通の重要課題であることを認識し、製品・サービスのライフサイクルの観点をもって、グループのあらゆる事業活動に由来する温室効果ガス排出量の継続的削減を行います。
2. 製品・サービスの全ライフサイクルにわたり環境への影響を配慮し環境負荷の低減に努めます。
3. 関連する環境法規制、その他の要求事項を遵守し、自主管理基準を設定し、環境汚染の未然防止に努めます。
4. 環境目的・目標・実施計画を設定し、継続的な改善を行うことにより環境への負荷を軽減し、環境と調和する事業活動を目指します。また、それらは必要に応じて見直します。
5. 環境教育や啓発活動を実施し、全従業員及び当社で働く全ての人への環境方針の理解と情報の周知をします。
6. 環境情報を社外に開示いたします。また地域や社会との交流を図り、環境保全活動に積極的に協力します。

環境への取り組み

■ カーボンニュートラル2050年実現に向けた中長期目標設定

地球温暖化の原因となる温室効果ガス排出量削減のため、2050年カーボンニュートラル達成とそれに向けた中長期目標を新たに設定いたしました。気候変動への対応に向け、取り組みをさらに強化・加速してまいります。

中期目標：

2030年CO2排出量55%削減（2013年度比）

事業活動からのCO2排出量（Scope1+Scope2）を55%削減

長期目標：

2050年カーボンニュートラル達成

事業活動からのCO2排出量（Scope1+Scope2）実質ゼロ

Scope1：事業活動での燃料の燃焼などによる直接排出

Scope2：他者から供給を受けた電気等の使用に伴う間接排出

■ 国内生産拠点「長岡工場」の使用電力を100%再生可能エネルギー由来に切り替え

国内の生産拠点である長岡工場（新潟県長岡市）で使用する電力の全量を、2022年2月より、100%再生可能エネルギー由来の電力に切り替えました。

電力小売事業を手掛けるオリックス株式会社が供給する非化石証書付き再生可能エネルギー由来の電力に切り替えることにより、長岡工場における電力使用に係るCO₂排出量は実質ゼロとなり、年間約 2,000トン（※）のCO₂排出量の削減を見込んでおります。

※当社における国内のCO₂排出量 2020年度実績 2,862トンこのうち、長岡工場における電力使用に係るCO₂排出量 2,000トン

これまで、長岡工場内の照明のLED化や空調設備の省エネ化などによる消費電力の削減、国内の生産拠点・営業拠点の統合等による効率的な体制の構築などに取り組み、国内事業で排出されるCO₂排出量を着実に削減しております。

今後も、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、省エネ設備等の導入・更新の継続、工場における生産技術革新の推進、生産効率向上を図る新製品開発などの取り組みを、強化加速して進めてまいります。

ESGデータ 環境指標





社会 Social

[トップ](#) > [サステナビリティ](#) > [社会](#)

人権方針・労働方針

ツガミグループは、自らの事業活動において影響を受けるすべての人々の人権が尊重されなければならないことを理解し、企業行動の基本的指針として「行動規範」を制定しており、その一つに「人権の尊重」を掲げています。国際人権章典(世界人権宣言と国際人権規約)、国際労働機関（ILO）の宣言、国連グローバルコンパクト、国連のビジネスと人権に関する指導原則に沿って、人権を尊重する取り組みを推進します。

このような人権への配慮を基盤とした上で、全ての人材が個々の持つ能力を最大限に活かし多様な価値観を共有することができる、働きやすくやりがいのある会社、組織を目指すダイバーシティーマネジメントを推進していきます。

以下を人権方針として、「サステナビリティ委員会」が取り組みの企画、管理、運営を総括します。

1. 非正規雇用を含むすべての社員の人権を尊重します。またすべてのビジネスパートナーに対し、社会活動方針の支持と遵守を求め、協働して人権尊重の責務を果たします。
2. ダイバーシティを尊重し、人種、宗教、出身国、年齢、性別、障害、その他のビジネス上の正当な利益と関係しない要素に基づく差別やハラスメントをしません。
3. いかなる形態の強制労働や児童労働、いかなる形態の現代奴隷を認めません。
4. 労働者の団結権、団体交渉および団体行動を認める労働基本権を尊重します。
5. 人権デュー・デリジェンスの仕組みを構築し、これを継続的に実施します。また人権に対する課題を特定し、その防止および軽減を図ります。
6. 独立した外部機関からの人権に関する専門知識を活用すると共に、関連する外部ステークホルダーとの対話と協議を行います。
7. 人権に関する法令や原則の遵守に向け、すべての役員と社員に人権方針を周知し、適切な教育を行うことにより、事業活動への定着を図ります。
8. 人権方針や実践の過程とその結果は、広く開示します。

人権・労働への取り組み

■ 安全で働きやすい職場環境の確保

ツガミグループは、不当な差別や嫌がらせのない、健康的で安全な職場環境を維持するように努めます。職場において、性的な誘いかけ、行為あるいは発言、人種または宗教に関する中傷あるいは冗談、その他健全な職場環境を侵害または人格を無視するような発言や行為を行いません。

■ ダイバーシティの推進

ツガミグループでは、人材を持続的な成長を支える基盤と捉えています。そのためには、人種、宗教、出身国、年令、性別、障害などに関わらず、事業を支える人材一人ひとりの価値観や個性を認め、多様性を尊重していくことが大切です。社員一人ひとりが自分の能力や適性を存分に活かして働ける環境の整備と多様な人材が活躍できる組織風土づくりを推進しています。

■ 不当な差別・ハラスメントの禁止

ツガミグループでは、求人、雇用、昇進、その他の応募者または従業員の取り扱いについて、人種、宗教、出身国、年令、性別、障害、その他のビジネス上の正当な利益と関係しない要素に基づく差別をしません。

■ 公平で公正な人事制度の確立

従業員一人ひとりの能力を最大限に引き出すためには、従業員一人ひとりをその役割や成果に応じて公正に評価し、評価に見合った適正な処遇と育成・活用を図る必要があります。当社では、面談により従業員が自らの成果や課題を上司と共に確認することで、評価の透明性と公平性の確保に努めています。

■ 内部通報制度

全てのツガミ役員・社員に対して、法令・規則等に違反する（又は違反するおそれがある）行為を発見した場合、その旨を速やかに報告することを奨励します。このような懸念が速やかに報告され適切に処理されるよう、通常の指揮命令系統から独立した社内通報制度を構築し、維持していきます。かかる情報を誠実に通報を行ったツガミ役員・社員を公正にまた丁重に取り扱うこととし、通報者に対する報復措置をせず、通報者の匿名性を維持します。

ESGデータ 社会指標



ガバナンス

Governance

[トップ](#) > [サステナビリティ](#) > [ガバナンス](#)

腐敗防止に関する方針

ツガミグループは、事業の遂行にあたり、法令を遵守し、公正、透明、自由な競争ならびに適正で責任ある取引を行うこと、社員一人ひとりが高い倫理意識をもって日々の仕事に取り組むことが、企業の長期的な発展につながると考えます。あらゆるビジネスの局面で腐敗行為を禁止し、取引先との適切な関係を維持し、自由で公正な競争を確保することをすべての役員と社員および業務委託先に求めます。

以下を腐敗防止に関する方針として、「サステナビリティ委員会」が取り組みの企画、管理、運営を総括します。

1. すべての役員と社員に対して適切な教育を行い、腐敗防止に関する意識の向上を図ります。
2. 贈収賄防止に向けた不当な便宜の供与や要求の防止を徹底します。
3. 反社会勢力との徹底した関係遮断を行います。
4. 同業者や他のステークホルダーとの連携を図ります。
5. 腐敗防止に関する方針や実践の過程とその結果は、広く開示します。

腐敗防止への取り組み

■ 腐敗防止活動

ツガミグループは、国内外すべてのグループ会社のコンプライアンス責任者に対し本基本方針を展開し、各社における社内規程およびガイドラインの制定やコンプライアンス教育を推進することにより、グループ横断的な贈賄防止の徹底に取り組んでいます。

2020年度は贈賄等腐敗行為に起因する社員に対する懲罰はありませんでした。

また、2020年度における腐敗に関連する罰金、罰則、和解にかかるコストはありません。

ESGデータ

ESG Data

トップ > サステナビリティ > ESGデータ

環境指標



社会指標



ガバナンス指標



環境指標

温室効果ガス排出量（Scope1, Scope2）（単体）

（tCo2）



エネルギー使用量（単体）

（原油換算kl）



※ 長岡工場、高見倉庫、パーツセンター倉庫、本社、仙台・高崎・諏訪・信州・名古屋・大阪・福岡営業所、各拠点合計値

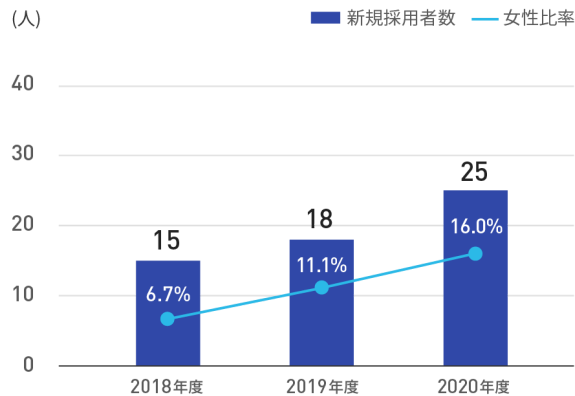
電力使用量（単体）

（千kwh）

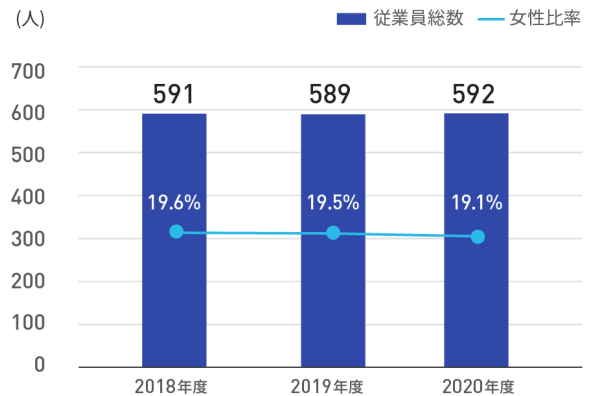


社会指標

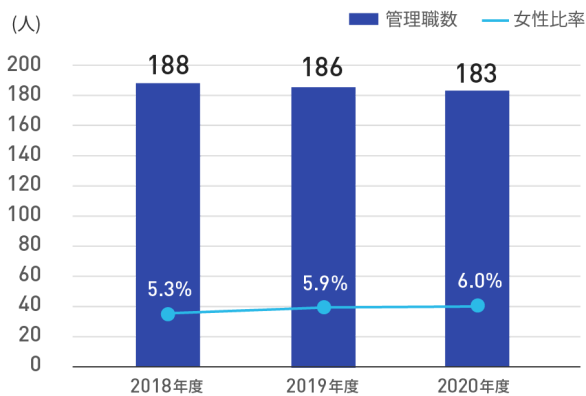
新規採用者数うち女性比率（単体）



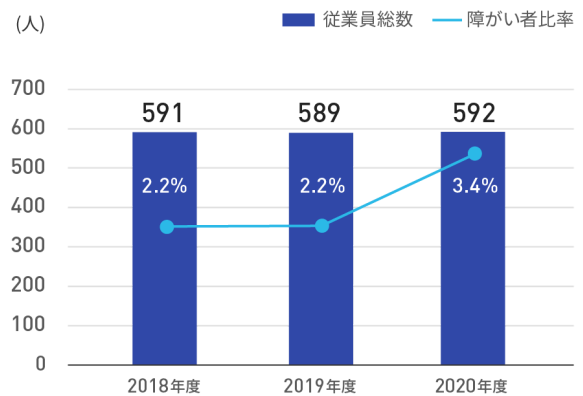
従業員総数うち女性比率（単体）



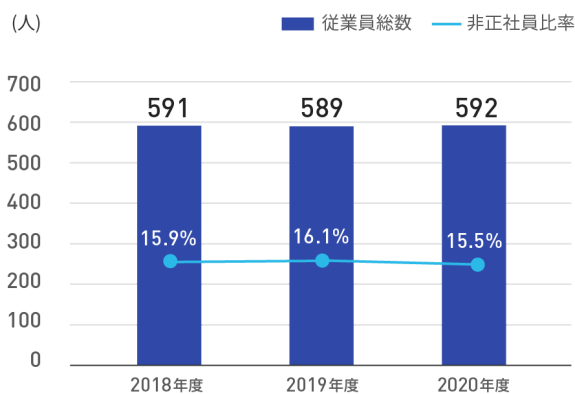
管理職うち女性比率（単体）



従業員総数うち障がい者比率（単体）



従業員総数うち非正社員比率（単体）



ガバナンス指標

取締役数うち女性の取締役率

独立取締役の数

